

(一般社団法人) 大学女性協会仙台支部便り

「けやき」No. 28

令和6年12月20日発行



【最近の活動】～エル・パーク仙台～

- ・ 6月 19日 (水) / 第3回役員会
- ・ 7月 24日 (水) / 第4回役員会
- ・ 7月 31日 (水) / 第57回宮城県女性大会
※宮城県行政庁舎2階講堂
- ・ 9月 4日 (水) / 第5回役員会
- ・ 9月 18日 (水) / ★2024年度 秋の研修旅行《高島》※参加費 13,500円
(昼食・ケーキ・お茶代・マイクロバス代含む)
- ・ 10月 2日 (水) / 第6回役員会
- ・ 10月 23(水)・24(木) / ★秋の演劇鑑賞会『フラガール '24』 ※イズミティ 21小ホール
- ・ 11月 6日 (水) / ★2024年度 交流会 (話・U.M.会員「仙台を演劇で盛り上げよう!」)
- ・ 11月 15日 (金) / 男女共同参画推進せんだいフォーラム 2024
(話し手・澁谷由美子会員 「先達に聞く 2024」)
- ・ 12月 4日 (水) / 第7回役員会

【今後の予定】～2025年(令和7年)～

- ・ 1月 8日 (水) / 第9回役員会
- ・ 1月 30日 (木) / ★公開講演会※参加費 500円・学生無料 ※エル・パーク仙台 創作アトリエ
(講師・戸野塚厚子氏 / 宮城学院女子大学教育学部教育学科教授)
『スウェーデンの優しい学校 -平等で寛容な社会を担う市民を育む-』
- ・ 2月 22日 (土) / 【新年会】ランチ会 ※会場未定



【 宮原育子会員 仙台市より表彰 】

● A.C.

● 仙台市「特別市政功労者」5名の一人

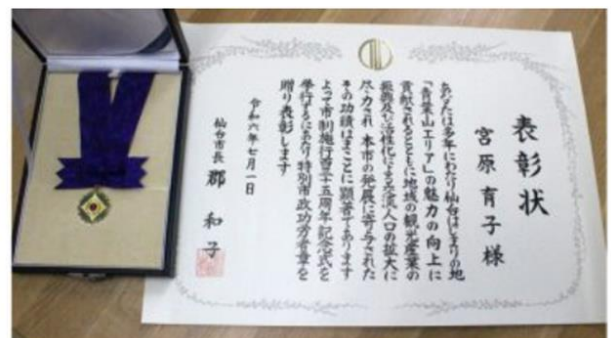
7月1日(月)、仙台市の市制施行135周年の記念式典が国際センターで開催され、仙台支部会員の宮原育子さんが「特別市政功労者」(市の振興発展に著しく寄与された方)として表彰されました。受賞理由は「仙台はじまりの地『青葉山エリア』(仙台市青葉区)の魅力の向上に貢献されるとともに、地域の観光産業の振興および活性化による交流人口の拡大に尽力され、本市の発展に寄与された」とのことです。

宮原さんは1975年から86年まで日本旅行に勤務され、その後東京大学大学院博士課程を修了されました(博士・理学)。1997年に宮城大学の専任講師に就任、同大教授を経て2016年から宮城学院女子大学現代ビジネス学部教授・学部長、現在は同大教授・名誉教授でいらっしゃいます。2019年には東北電力(株)社外取締役就任されました。実社会で一定の経験を積んでから大学や大学院で学び直し、新たなキャリアを築いたモデルケースのような方でもあります。

ご専門は地理学、観光学で、主に東北をフィールドとして地域資源を活かした観光のあり方を研究してこられました。東日本大震災後は、観光による地域の復興や新しい観光の創造について研究の幅を広げ、復興ツーリズムに大きく貢献されました。

大学女性協会には2018年に入会していただきました。先日の研修旅行の際は、高島の歴史や農業データなどに基づき、地域の魅力をたっぷりとお話してくださいました。宮原さんの何よりすごいところは、あふれるばかりのホスピタリティ精神だと思います。一般旅行業務取扱主任者として旅行業に携わっておられただけに、宮原さんの企画やご提案は具体的かつ繊細で痒いところに手が届き、私たちも大変勉強になりました。周囲から頼られ、さまざまな委員会から引っ張りだこな理由がよく分かりました。

これからの益々のご活躍をお祈りし、応援させていただきたいと思います。



(左写真：特別市政功労者5名を代表して登壇する宮原育子教授)

【 2024年度 秋の研修旅行 】

● S.Y.

● 2024年9月18日（水） / 山形県高島町（参加者11名）

「今度、秋に研修旅行を計画しているので参加しましょうね」と役員のお一人からお誘いを頂き、その日を楽しみに過ごしておりました。旅行前日の「中秋の名月」は素晴らしく9月18日の出発に思いをはせて床につきました。当日は4時に起床、6時10分の高速バスに乗り、集合場所で11名の参加会員と合流。マイクロバスは予定通り8時30分過ぎに一路目的地に向かって出発しました。バスは宮城県から福島県へ、そして、9キロにも及ぶ栗子トンネル等8ヶ所ほどのトンネルを抜けると山形県に到着。目の前に米沢盆地がひらけてきました。この地は17代「独眼竜政宗」が生まれ育ち幼少期に寺に学び、野山に遊んだエピソード等が伝わっている「伊達のふるさと」でもあります。古くからの歴史と文化があり日本三大文殊亀岡文殊は高島地区にあるとのこと。米沢から高島へと車が進むにつれて山に囲まれた平地が広がり、産業・農業が盛んな様子が窺えました。小高い山裾野にはビニール掛けのブドウの畑が整然と並んでいる風景も印象的でした。この地はラ・フランスの発祥の地でもあることも教えて下さいました。

最初の目的地は高島熱中小学校の視察。ここは2014年12月に廃校になった時沢小学校を改修したもので現在の生徒数は100名程。初めに長谷川事務長さんの説明。次に秋葉晶子町会議員のビデオレターでのメッセージ。町会議員15名の中、女性は2名で彼女はその1人。人口減少等課題の多いなか女性が生き生きと活躍出来る町にしたいと住民と共に取り組んでいる様子を話して頂きました。最後に宮原博通教頭先生（宮原会員のご主人・和のくらし文化研究所代表取締役）よりプロモーションビデオを観ながら学校の具体的な活動の様子を話して頂きました。この熱中小学校は9年の間にアメリカのシアトル校を含め21の姉妹校ができ、生徒も全国から集まって来ているとのこと。それぞれの地域の素晴らしいところを引き出し全国に配信していく等の経営方針についての説明がありました。そのあと篠笛で素晴らしい「最上川舟下り」を聞かせて頂き、その余韻を抱きながら2階の施設を見学し、次のお楽しみ処へと移動しました。

昼食は地元の隠れ家レストラン「フルール・ドゥ・ソレイユ」。ここは自家製野菜をふんだんに使ったメニューでデザートには珍しい形の甘い高雄ブドウも添えられたランチでした。

その後、株式会社菓子工房 coco イズミヤ「ココ・デ・カシエット イズミヤ」で枝豆を使った美味しいケーキと飲物を頂きながら、オーナーの庄司薫さんより100年にも及ぶ歴史ある店を引継ぐ時のご苦労や、現在は女性スタッフだけで工夫をしながら経営をしていること等についてお話を頂きました。

最後は「米沢道の駅」で買い物とトイレ休憩を済ませ、一路仙台に向かい予定より少し早く帰着しました。この度の研修旅行は宮原会員のすばらしいガイドにより米沢・高島地方の歴史ある風土と高島町民の「豊穡の郷」づくりに取り組んでいこうという民土に触れることができました。「まほろばの里・高島」の研修旅行に参加して心地よい刺激を受け、また参加会員皆様の温かいお心配りを頂きちよっぴり若返った気分になりとても有意義な一日でした。有難うございました。



★楽しそうなS.Y.会員（左）と皆さん



【 2024 年度 秋の演劇鑑賞会 】

● I.Y.

● 2024 年 10 月 23 日 (水) ・ 24 日 (木) / 《フラガール'24》イズミティ 21 小ホール

幼少期のお出かけといたら・・・我が家ではハワイアンセンター。年に2回は行っていた記憶があります。従業員を雇わずに建築設計事務所を営んでいた忙しい父にとって、子どもが喜び、自分も横になってゆっくりできる絶好の場所のようでした。幼い私にとって、異国の地と勘違いさせるほど素敵なお店。 「新婚旅行はハワイアンセンター」と言っていた可愛い私が出たことを思い出します。そんなハワイアンセンター（現スパハワイアンズ）が誕生するにあたって、多くの方々の苦勞があったことを知ったのは、映画「フラガール」を観てのことでした。

炭鉱の閉山の危機、変化に対しての順応性、仕事が失われる前になんとかしようとする精神の強さは、もしかしたら男性よりも女性の方が勝るのかもしれませんが。女性を軽視し男尊女卑が当たり前の時代に、ど素人の人たちがプロ顔負けの「フラダンス」をマスターするのですからそれは並大抵の苦勞と努力ではなかったことが推測できます。なぜそこまでできたのだろう？ 家族と故郷を愛する力、そして共感できる仲間たちがいたからでしょう。涙なしでは観ることができない内容です。同じ内容でも映画は何か遠く感じるものですが、演劇は演者の情熱が伝わってきます。汗のしぶきが観客まで届きます。まるで演者のひとりになったかのような気分にさせてくれるのが演劇の魅力なのかもしれません。また、当地に合わせた言葉やグルメなどもセリフに取り入れてくれるのは嬉しいものです。笑いあり涙あり感動ありの素敵な演劇でした。ラストのフラダンスも圧巻でした。

このような機会をいただきU.M.様ありがとうございました。



【 2024 年度 交流会 】

● N.N.

● 2024 年 11 月 6 (水) / 《仙台を演劇で盛り上げよう》

エル・パーク仙台 特別会議室 お話・U.M. 会員

11 月 6 日エル・パーク仙台 特別会議室 (10 時半～12 時半迄 /参加者 10 名/司会は A.F. さん)
U.M. さんが話題提供されました。

1. U.M. さんのプロフィール

仙台生まれの仙台育ち。上杉山通小学校から台原中学校、宮城学院女子高校を経て同短期大学に進学し、卒業。大和証券に勤めました。当時、短大卒は 100%の就職率でした。大和証券を 2 年でやめ上京し、モデル業にいそしんでいました。世の中はバブル時代に突入。ご飯を食べに行ったら会計は男の子が持ち、荷物は、女の子は弱いものだから男の子が持つという、そういう「常識」の中で過ごしていました。並行してモデル時代に簿記とワープロの学校に通い、事務職のスキルを身につけました。その頃、つかこうへいさんと再会（宮城学院時代につかさんの講演会がありその時に一緒に写真を撮らせてもらいました）、1994 年、★☆☆北区つかこうへい劇団（※日本初の行政のバックアップを受けた劇団）が創立され、そこに勤めることになりました。

2. ★☆☆北区つかこうへい劇団では

劇団の事務所では、秘書、劇団運営、舞台公演制作、役者マネージャー、事務全般を担当。2005 年、韓流ブームのなか、「日韓の懸け橋になれ」と、韓国の映画会社に出向を命じられました。ちなみにつかさんは在日韓国人でした。その時に製作したのが、日韓合同合作映画『初雪の恋～ヴァージン・スノー～』（イ・ジュンギ、宮崎あおい主演）。2010 年につかさんが急逝し、韓国には戻らず、日本に残りました。その後、人気音楽グループ GReeeeN の事務所に勤務していましたが、80 歳になる母が心配で、2016 年に仙台に戻りました。

3. 「フラガール '24」公演裏話

今回皆さんに観て頂いた「フラガール」は 2006 年に映画化されました。磐城の常磐炭鉱がつぶれて、急に、町にハワイを作るといふとんでもない発想でした。それまで、顔を真っ黒にして石炭を掘っていた男たちが、タキシードに蝶ネクタイ姿でホテルのロビーに立たなくてはなりません。奥さんたちはお腹を出して踊らなければならないということになりました。炭鉱夫たちは断固として拒否します。ところが、女性たちが底力を出して、誇りの高い男たちをひっぱっていきます。その実話を脚本家の羽原大介さんが舞台用に書き直しました。そして 2019 年、東日本大震災の復興を念頭に置いてさらに書き直したのが、今回のチーム羽原版「フラガール」です。それを仙台の皆さんに観て頂きたくて、その年の暮れ、市民会館（トークネットホール仙台/500 席）を借りることができたのですが、買取公演を依頼した東北放送も仙台放送もけんもほろろ。自主公演手続きには法人格が必要だということになり、思い出の「ヴァージン・スノー」の名前で、たった一人の代表兼社

員の法人を出発させました。宣伝は、河北新報社が羽原さんに取材をしてくれたおかげでやっと 100 枚のチケットが売れました。最後に友人たちの手を借りて観客を動員、2 回公演を満席にし、赤字でしたが無事に公演が終わりました。

今回は（10 月 23・24 日/イズミティ 21 小ホール/400 席）、「後援」に河北新報社、（公財）仙台市民文化事業団、宮城学院女子大学、仙台演劇鑑賞会、（一社）大学女性協会仙台支部があり、「協賛」として ATTivoGYM と大魔王（いずれも中学校時代のクラスメート）そして、「協力」に沢山の企業や団体をあげることができ、2 回公演を埋めることができました。今回は動員はなく前回よりも前進した取り組みができました。観劇後のアンケートでは、「いろんな地域で観せてあげたい」との感想がありました。

~~~~~

以上が U. M. さんのお話でした。そして、これからは、収支でプラスがちゃんと出るような企画を立てて、演劇の街仙台（「劇都仙台」）への取り組みをみんな（スタッフ・出演者・観客）がウィンウィン（Win-Win）になるように仕事をしていきたいと思います、と結ばれました。

**その他** 「冬のソナタ」で有名なヨン様との美しい若き日の浦田さんとの写真についてのお話や、日韓の懸け橋の試みについてのお話もありました（来年が日韓国交正常化 60 周年）。



★左から H. M. 会員、U. M. 会員、Y. R. 会員



★ヨン様初来日 2004. 4. 3

◆.....◆

### 【ひとこと】

■コロナ前に計画されていた《高島旅行》を約 5 年の時を経て実現する事が出来ました。マイクロバスに乗ってマスクを取ってお喋りをして美味しいランチを堪能し、こんな日常が戻って来て改めて嬉しい一日でした。S. Y. 会員は朝 4 時に起床されてのご参加。そしてレポートも書いて下さいまして本当に有難うございました。■演劇鑑賞会は皆様をご招待出来れば良かったのですが力不足で申し訳ありません。この作品は、女性が現実の状況を受け止めて故郷復興に向けて立ち上がるという実話です。又機会がありましたらぜひ皆様にご観劇頂きたいと思います。ご来場下さいました会員様、レポートを書いて下さいました I. Y. 会員、有難うございました。■また、交流会でも私の支離滅裂な話をお聞き下さり有難うございました。N. N. 会員はレポートをおまとめ下さるのが大変でいらっしやっただと思います。感謝申し上げます。■最後に改めまして宮原会員、おめでとうございます。ご紹介レポートを書いて下さいました A. C. 会員も有難うございました。■今年は特に寒い Christmas になりそうですね。皆様、暖かくしてお過ごし下さい。本年も有難うございました。どうぞ良い年をお迎え下さいませ。

◆.....◆